

廃棄物系バイオマスに係る再資源化等事業化検討 概要(伊勢志摩地域)

事業のねらい

- 循環型社会の実現に向けたリサイクルの推進
- 地域の未利用資源を活用した自立・分散型エネルギー供給体制の強化
- 新たな地域内循環を基軸とした地域経済の活性化

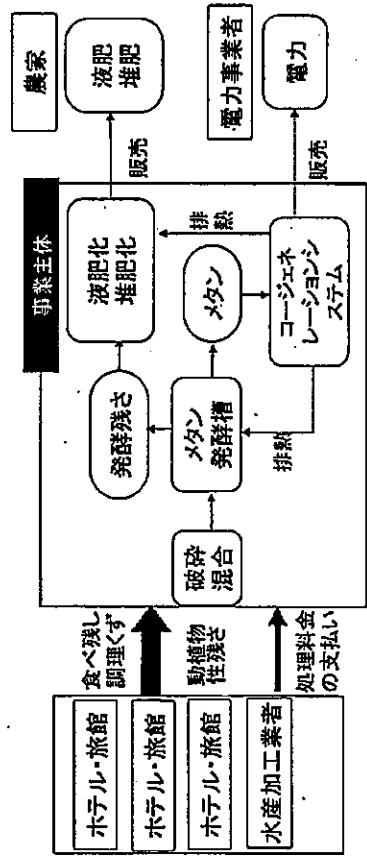
廃棄物系バイオマスのエネルギー利用を含む再資源化等に向けた、事業化を促進する効果的な支援の実施

地域内循環の核となるバイオマス資源化ビジネスの確立を目指す

伊勢志摩地域の特徴

- <観光>
- 入込観光客数が多い(伊勢神宮、おかげ横丁、鳥羽市旅館街、鳥羽水族館、志摩スペイン村などが立地)
 - 三重県内の宿泊施設が集積
 - 宿泊施設から出る厨芥類の多くが焼却処分されている
- <漁業>
- 漁業漁獲量が県内で最も高い
 - 中小規模の水産加工業者の割合が高い
 - 中小規模の水産加工業者からの動植物性残さ(食品廃棄物)量が多いことが予想される

事業イメージ図



想定事業案

全体計画

年度フェーズ	平成24年度 [予備調査]	平成25年度 [事業化検討]	平成26年度 [実証試験実施]
概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域特性の整理 事業者意向調査 事業案策定 事業化可能性調査 	<ul style="list-style-type: none"> 実施事業者の選定 事業基本枠組みの策定 事業者間の連携 事業実施計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> 実証テーマの明確化 実証施設設置 実証試験実施 結果の評価

地域特性を踏まえた事業化のねらい

- 再生利用が進んでいない厨芥類の資源化
- 水産加工業者等から排出される動植物性残さ(食品廃棄物)の資源化
- 観光業との連携による地域活性化



宿泊施設からの厨芥類と、水産加工業者からの動植物性残さ(食品廃棄物)を組み合わせたメタン発酵による発電事業を実施し再資源化を目指す

地元旅館組合・商工会等との連携、地元排出者の取込によって、観光スポット化等や地域の活性化を目指す

検討体制

- 三重県・コンサルが事務局となり地域内で研究会を立ち上げる予定
- 研究会とは別に学識経験者からなる検討委員会を設置し、助言や指導を仰ぐ

- <協力依頼対象(想定)>
- 地元自治体
 - 観光・商工関係団体
 - 旅館組合や大手宿泊施設
 - など

